

有縁の皆さんでお読み下さい

「害獣」「害虫」と騒ぐ私の心の中に、間違いなく住む「大害獣」

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

しょう しき しょう こう

青色青光

No.331



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

お釈迦様がお悟りを開かれた記念日

十二月八日（金）

日中法要 午前十時から

正午まで

逮夜法要 午後一時半から

三時半まで

成道会

じょうどうえ



法話 純正寺住職 釋覚恵

日中「御降誕から成道まで」

逮夜「初転法輪に説かれた教え」

※日中・逮夜法要共に、ご法座の後に乳粥キールをお召し上がりいただきます。

YouTube 純正寺チャンネル LINE 純正寺公式アカウント 純正寺公式ホームページ



上記のQR（二次元）コードを、スマホのQRコードリーダーで読み込んでください。

12月25日（月）

10:00~12:00 13:30~15:30

こんき常例布教

法話：本願寺派布教使 藤波 蓮凰 師

純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。

住職法話 我聞如是 われかくのごとくきく

我が心の中に住む無自覚な害獣

怪物「OS018」の悲しみ

涅槃図の動物

お釈迦様が、八十歳で亡くなられることを「入涅槃」と言います。完全なるさとりに至るという意味です。その様子が描かれた絵画を「涅槃図」と言います。双子の紗羅の樹(沙羅双樹)の間に、北に頭を西に顔を向けて右脇を下にして横たわるお釈迦様の周りを、阿難尊者をはじめとするお弟子方が取り囲んでおられます。そして、その周りには、馬や牛、サルやキジ、象に獅子など、実に多くの動物たちも、お釈迦様が涅槃に至られる様子を見守っています。

これは人間だけのものではなく、生き物すべてのものであるということです。それは同時に、仏教においては人を含めたすべての生き物は、その命の重さが等しいということであらわしています。

怪物ヒグマ

このところ、全国的に山に住む動物たちが人間に危害を与える事件が後を絶えません。鹿などは、山の斜面の植物を食べ尽くしてしまつたために、降雨により山が崩れてしまつたりしています。また、サルやイノシシや熊は町に出てきて、畑の農作物や柿などの果実を食い荒らしてしまします。

今年、山の中に動物たちの食料が特に不作で少ないことも、その原因であるようです。

特に熊は、農作物を食べるだけでなく人を襲うこともあり、怪我をされたり亡くなられた人もおられるようです。そして、こういった人間に危害を与える動物を、人間は「害獣」と呼び嫌い、駆除しようとしています。

今年七月の終わり、北海道釧路町で一頭のヒグマが捕獲されました。この牛のコードネームは「OS018」。四年間に六十六頭の牛を襲った「怪物ヒグマ」でした。名前の由来は、最初の牛が被害に遭つた地名の「オソツベツ」と、足の大きさが十八センチだったことによるものです。

今年七月末のある日の昼間に、七月末のある日の昼間に、とも簡単に捕獲され、殺処分されたのは、一ヶ月後のことでした。

本来は果実や草木類を食べて生きるヒグマなのに、OSO18は何故牛を襲い食べたのか。それを解き明かす証拠は、完全に抹消されてしまったかに見えませんでした。

怪物を作ったのは

ところが、長年OSO18を追い続けてきた特別班のリーダーの男性は、OSOが捕獲された時の写真を見てあることに気づいたので、OSOの足の大きさは十八センチ。なのに、捕獲されたヒグマの足の裏の大きさは二十センチでした。OSOの足の裏は、異常に腫れていたのです。「OSOは病気だったのかもしれない」。リーダーは、そう感じました。

捕獲される少し前にOSOを目撃した人は、その毛並

みからかなり老いて弱ったヒグマだと思つたようです。しかし、OSOを仕留めたハンターが保管していたOSOの歯を調べたところ、OSOはまだ若い九歳の雄であることがわかりました。さらには、OSOを解体した業者からは、OSOの胃の中が空っぽであったこともわかりました。やはり、OSOは病気で動けなくなったのです。

何故、OSOは病気になったのでしょうか。それは、極端な肉食になったことが理由でした。長年の進化の過程で、果実や木の実を安定して食する習慣を身につけたはずのヒグマが、肉食に転じたことにより病気になるってしまったのです。

では、何故OSOは肉食と なってしまったのでしょうか。処分したOSOの骨を掘り出して調べたところ、OSOは

牛を襲う前に既に肉食になつていました。OSOは何の肉を食らっていたのでしょうか。その答えはこうです。北海道では、以前エゾシカが絶滅の危機に瀕していました。そこで、エゾシカの保護政策が実施された結果、今度は個体数が増えすぎたのです。そこで、今度は個体数を減らすためにハンターにエゾシカを撃たせたのです。殺されたエゾシカは、処分されずにそのまま放置されました。その肉をOSOは食べたことにより、肉食化していったのです。そして、その結果牛にまで手を出し、ついに病に陥ってしまったのです。

最悪の害獣は

肉食ヒグマOSO18を生み出したのは、実は私たち人

間だったのです。人間の都合と身勝手さが、本来草食だったヒグマを肉食化させ、OSO18にしてしまったのです。山の動物を「害獣」と言つて駆除する私たち人間。しかし、山の動物たちから食べ物を奪つたり食生活を変えてしまつたりして無理やり町に引つ張り出してきた、しかもそのことに気づきもせずとその動物たちを「害獣」と呼ぶ私たちは、この地球上で最も恐ろしい、最悪の害獣なのではないでしょうか。

涅槃図に描かれている人間と動物たち。お釈迦様は、全ての動物が皆同じ重さの命だと教えてくださる中で、私たち人間の極めて自己中心的な生き方を知らせてくださり、私たち人間がどう生きていくことが大切なのかを考えさせてください。



純正寺 12月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ 一、六〇一、三五六個

今年も残すところあと一ヶ月。締めくくりのひと月を、有意義に過ごしましょう。今月も、四三〇〇個のキャップをお預かりしました。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

2日(土)・23日(土)
10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しい遊びタイムです。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

12日(火)・26日(火)
10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかい身体と心を作りましょう。

みんなの食堂ビハーラ

14日(木)17:00~19:00
29日(金)11:00~13:00

年齢・性別は問いません

14日(木)は、通常の食堂(学習と夕食)。29日(金)は、杵つきのお餅と大根だきです。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

17日(日)
18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

「月例法話座談会」

19日(火)
14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

17日(日)・24日(日)
15:00~17:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。マスクの着用は自由です。

みんな法友こんき常例布教

25日(月)
10:00~12:00.13:30~15:30

年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。法話は、本願寺派布教使の藤波蓮凰師です。

釈尊が真理に目覚めた日「成道会」

8日(金)
10:00~15:30

年齢・性別は問いません

お釈迦さまが悟りを開かれた記念日。仏教徒として大切な日です。乳粥の振る舞いもあり。

一年の締めくくり「除夜会」

31日(日)
18:00~19:00

年齢性別は問いません

今年も、色々あった一年でした。そんな今年をお勤めと共に振り返り、共に豊かに年を越しましょう。

十二月は、純正寺門徒会の会費納入月になっています。一括納入の方も、分割納入の方も、それぞれ地区委員さんにご連絡の上で集金に同われますので、速やかな会費の納入にご協力ください。宜しくお願いいたします。

門徒会より会費納入について

ご往生
十月二十九日
法名 堅正院釋成徳
俗名 大西栄様
行年九十一歳
純正寺の本堂復興期から、常に純正寺門徒の中心的存在の方でした。ご生前を偲びつつ、謹んでお念仏申し上げます。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブもあり。